

Title	語文 第56輯 投稿規程/編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 56
Issue Date	1991-05-20
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68831">https://hdl.handle.net/11094/68831</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

☒ 投稿規定 ☒

- 一 大阪大学国語国文学会員は、本誌に投稿することができる。
- 一 原稿の内容は、国語学・国文学・国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙で三十枚前後とする。
- 一 原稿の送り先

〒五六〇 大阪府豊中市待兼山町一―一

大阪大学文学部国文学研究室気付

大阪大学国語国文学会編輯委員会宛

- 一 原稿の採否は編輯委員に一任されたい。
- 一 投稿原稿は原則として返却しない。採用にならなかった原稿の返却を希望する場合は、その旨を申し出てほしい（返送料添付のこと）。
- 一 論文掲載の場合は、本誌十部・抜刷三十部を贈呈する。さらに入用の向きは、その旨申し出があれば実費で増刷する。

## 編集後記

▽暖冬か厳冬か、訳のわからない冬が終え、とりあえずはまっとうな春になりました。「語文」第五十六輯をお届けします。印刷等の都合で若干遅れ気味をおわびします。後藤昭雄教授の平安期漢文学の論考と胡氏の源氏物語論考、玉村氏の語史論考と小林氏の活用に関する論考と、国文学・国語学の論文をそれぞれ時代順に従いました。それに、新刊紹介が二本。名誉教授、島津忠夫先生の御編著書と、山口堯二教授の御著書、発刊後やや時間がたちましたが、「語文」として、ここに紹介させて頂きました。

▽本誌は八九年末に学術刊行物として認定され、五十三・四輯の合併号より郵送費の負担が軽減されました。

▽内容のよりいっそうの充実のため、「語文に是非」という御投稿をお待ちしています。

(出原隆俊)

## 語文 第五十六輯

平成三年五月十五日 印刷

平成三年五月二十日 発行

編集・  
発行者 大阪大学国語国文学会

〒560 大阪府豊中市待兼山町一―一

大阪大学文学部国語国文学研究室

代表 信多純一

振替口座 大阪 四―二四六四一

電話 (〇六) 八四四―一一五一

印刷 昭和堂印刷所